



## ファシリテーションスキルを向上させ、会議の生産性を上げる



### ファシリテーターとは (Facilitator = 促進者)

- ① テーマや参加者に対して中立的な立場で、
- ② 集団活動のプロセスを効果的に運営し、
- ③ チームの生産性・効果性を引き出し、
- ④ 成果へと結びつける支援をする人

#### 背景

福祉施設の現場会議では、職員の経験値が様々で「発言に偏りがある」「意見がまとまらない」「時間内に終わらない」などの課題が見られる。今回は寮のチーフなど現場でリーダーシップが求められるポストに就く職員等を対象に、ファシリテーションスキルを向上させ、職場での会議の生産性を上げるために研修を行うことになった。

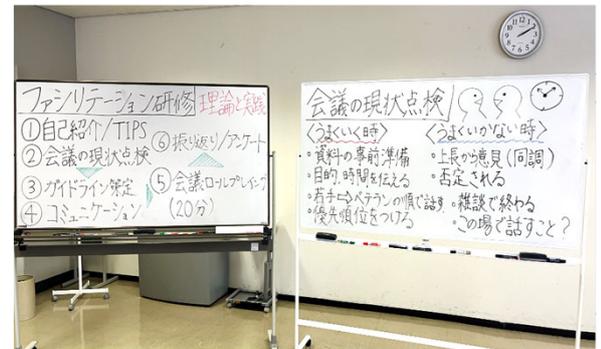
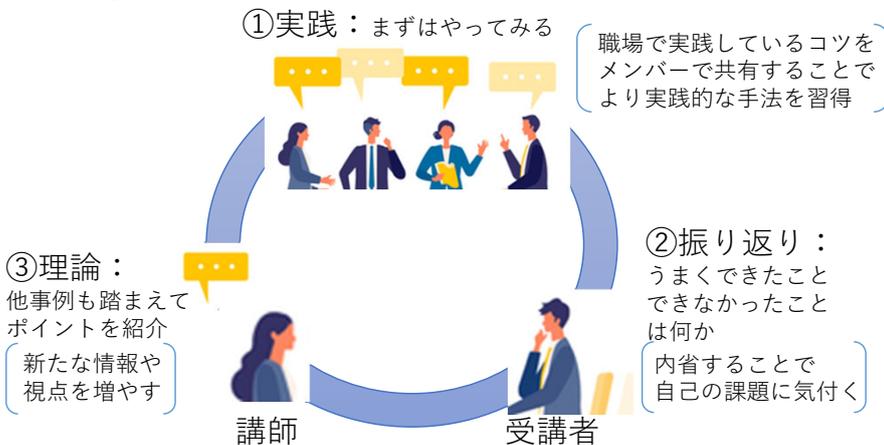
#### 導入

「自己紹介」から「振り返り」まで6つの演習でファシリテーション役を決め、受講者全員に役割を経験していただいた。受講者が、実践→振り返り⇒理論というサイクルを通して学びや気づきを得られるように展開した。会議ロールプレイングでは「俯瞰して意見や考えをまとめる役割」を担い、終了後はメンバーからフィードバックを受け、参画度を振り返った。

#### 効果

ファシリテーターとしての基本姿勢、ガイドラインを実践することでファシリテーションスキルの底上げを図ることができた。受講者アンケートから「研修で習得したスキルを現場で活かせるよう実践していきたい」「傾聴について、今後は心情理解まで考えて行いたい」と前向きな感想を多くいただいた。

### <体験学習のサイクル>



<ホワイトボードの活用法もご紹介>  
左：研修の全体像 右：受講者の声を可視化

### <ご担当者様からのコメント>

グループワークが多く、受講者は演習を通して楽しく学んでいる様子でした。他の社会福祉法人の事例も紹介していただき、共感しながら聞くことができたのでは、と思います。コミュニケーションの演習では、私自身も意識して実践していることがあり、再確認することができました。受講者が今回の学びを継続的に実践してもらえたらと感じています。